

第3章 LEDが1秒周期でチカチカしたらスタンバイOK!

Arduino IDEのインストールからボードを動かすまでの手順

島田 義人 Yoshihito Shimada

Arduinoボードを入手したら、スケッチ(プログラム)を作るための開発環境 Arduino IDEを準備します。ここでは統合開発環境を略してIDE(Integrated Development Environment)と呼んでいます。Arduino IDEはパソコン上で動作するソフトウェアです。これを使って、Arduinoのスケッチを書き、Arduinoボードに転送して動作させます。本章ではArduino IDEのインストールからArduinoを動かすまでの手順を説明します。

純正の統合開発環境 Arduino IDEをインストール

■ 手順

● 手順1…Arduino公式サイトからファイル入手

Arduinoの公式サイト(<http://arduino.cc/>)を開きます。図1のArduino公式サイトには最新の情報が用意されています。サイトのメニュー・バーにある[Download]をクリックすると、Arduinoのソフトウェアのウェブ・サイトが開きます。図2に示すように、Arduino IDEには、Windows、Mac OS X、Linuxに対応するパッケージが用意されていて、ここから**最新のArduino IDEをダウンロード**できます。

2013年1月現在のArduino IDEのバージョンは、Arduino 1.0.3です。Windows用のファイルは、「arduino-1.0.3-windows.zip」というzip形式の圧縮ファイル

となっています。

● 手順2…Arduino IDEのインストール

インストールは、ダウンロードした圧縮ファイル、「arduino-1.0.3-windows.zip」を展開して、好みのフォルダに配置するだけです。インストーラはついていないので、ダウンロードしたファイルを右クリックして「すべて展開」を選択します。展開先に配置したい場所を指定し「展開」ボタンをクリックすると完了します。展開したフォルダ「arduino-1.0.3」の下にArduino.exeというファイルがあるので、これのショートカットをデスクトップに作っておくと便利です。

OSごとのインストール手順は、図2に示すようにArduino公式サイト[Getting Started(<http://arduino.cc/en/Guide/HomePage>)]のページで説明されています。

● 手順3…ArduinoをUSBケーブルでパソコンと接続

Arduino IDEをインストールしたら、マイコン・ボードを接続します。ここではArduino Unoを例に説明します(写真1)。ケーブルをパソコンのUSBポートに接続したらボードの「ON」という文字の横のLEDが点灯します。USB対応のArduinoはUSBから給電されるので、電源を用意しなくても動作します。



図1 Arduinoの公式ウェブ・サイトを開く
<http://www.arduino.cc/>

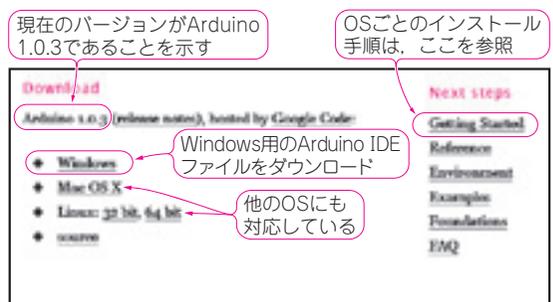


図2 ArduinoのソフトウェアのWebサイトからArduino IDEをダウンロードする